

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 弘前大学教職大学院、青森県教育委員会
コラボ研修プログラム	テーマ：組織で解決する力を伸ばす ーチーム学校を目指すスクールリーダーとしての資質・能力ー
支援事業報告書	研修等名：令和3年度【NITS・弘前大学教職大学院コラボ研修】充実期研修講座 開催日時：令和3年7月27日 14時～15時30分 オンライン・ガイダンス 令和3年9月3日 10時～16時30分 第1回集合研修 令和3年10月～11月初旬 オンライン・コンサルテーション 令和3年11月26日 10時～16時30分 第2回集合研修 開催場所：弘前大学（青森県弘前市文京町1番地） 参加人数（総数）と参加者の属性： (26人) 小学校4人、中学校8人、高校8人、特別支援学校6人

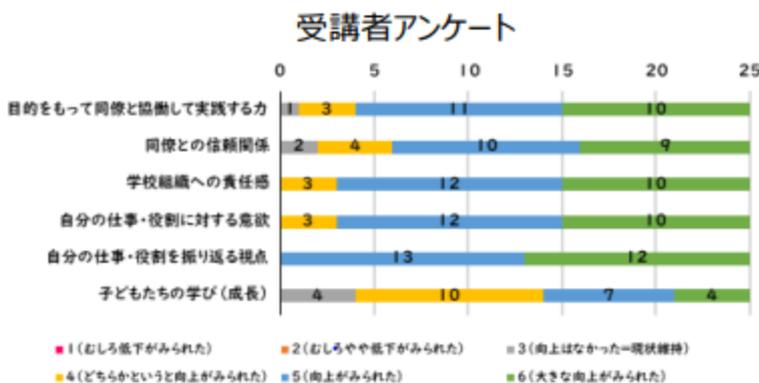
内容：

学校長の推薦を得た 30 代後半～40 代の教員が、青森県の育成指標で充実期教員に求められる「マネジメント力」及び「指導力」の伸長を目指す講座。受講者はガイダンスを受けて、各自 NITS 研修動画を視聴し、勤務校の課題を分析するワークを行ってから、集合研修①に参加する。研修では、講義や協議、助言を踏まえてアクション・プラン

を作成し、勤務校に戻って、同僚との協働しながら実践する。実践の過程では、テーマの近い者でグループを組み、教職大学院教員のコンサルテーションを受ける。集合研修②でアクション・プランの成果と課題を報告、さらに協議を深め、チーム学校をテーマとする講義を受けた上で、研修の過程を省察する。



成果：



所属校校長アンケート

充実期の教諭の資質・能力の向上に効果があったか(6段階)



参加者の声 ● 同じような悩みを持つ先生方との本音の協議、大学の先生方による実践的アドバイス、どれをとっても有意義な学びの機会になりました。● 自身に足りないものや努力すべき点、学校組織の課題、それをどうすべきかについて、自覚はあった。そこに行動する勇気ときっかけを与えていただいた。● 数か月にわたる研修だったが、その分、じっくりとひとりで考えたり、同僚と相談したりする時間が確保できてよかった。● 校種を超えて意見交換をできたことが有益であった。成果が出ていないと感じていても、意見交換することで視点を変えることができた。● Action Plan を通して、「チーム」で取り組むことで生まれる効果の大きさを実感できた。● 客観的に学校全体をとらえ、「この課題に対しては、こういう方法・手段もあるのではないか」と冷静に考えられるようになった。

アイデアや工夫したこと： ● 多忙な充実期の教員に配慮して、オンラインと集合研修を組み合わせ実施。

● NITS の研修動画を視聴し、勤務校において、各自でワークに取り組んでから、講座に参加。

● 受講修了者は、県教育委員会の研修履歴に記載。

<写真・図など>



← 新型コロナウイルス感染防止のため、第1回集合研修はオンラインに変更され、ガイダンスからコンサルテーションまで、すべてオンライン上での実施となった。左は全体での説明の様子。

↓ 双方向性を確保するために、ブレイクアウトルームでのグループ協議を積極的に取り入れ、オンライン上でも熱心な協議が行われた。



← インターネット上のホワイトボードなども積極的に活用して、議論を深めた。



← 集合研修2日目の午前の協議。対面は初めてだったが、これまでのプロセスを共有してきた仲間と、それぞれの実践を報告し合い、充実した協議となった。

熱心に勤務校での実践を語る受講者 →



受講生の実践したアクション・プラン例

●1日15分～20分程度の校内ICT実践講座研修会を実施。活動場面に応じたアプリの紹介・演習を行い、授業での活用機会を増やす。●小中学校の担任5人で児童生徒の見立てを共有するケース会議を実施。1回につき1人の子どもの1週間観察、会議では付箋を活用して見立てを共有、支援策を協議する。記録を全職員に周知。●生徒の実態に合わせていじめアンケートを改善。職員アンケートや教育相談担当との協議を踏まえ、各学年会で改善を検討し実施。■多忙化解消に向け、新しい研究授業と合評会のあり方を考える。授業の目的を明示して編集し、共有ネットワークで一定期間視聴して、いつでも意見を投稿できるようにする。

集合研修2日目の全体講義「チーム学校の実践に向けて」の様子 ↓

